



GUNNM
Last Order

Vol. 7

木城ゆきと

アガ・ムバディ



LADDER議長補佐。
ノヴァ教授の脳チップを
手に入れた。

ゼクス (GR-6)



ガリィの複製として造られた
人造人間。
ガリィを超えることが目標。

エルフ&ツヴェルフ (GR-11&12)



ゼクスと同じGRシリーズ。
2体のコンビネーションによる
戦闘が得意。

ツァイク少佐



星鳥のツァイクロウ。
ガリィの機甲術教官だった。

ピング・ウー



かつて凄腕ハッカーとして
ならした男。
今はガリィの協力者。

ガリィ (陽子)



本編の主人公。
火星生まれのサイボーグ戦士で、
機甲術の使い手。

近未来——世界は、支配する者と支配される者との二つに分かれていた。圧倒的な力で地上を治めるのは、天空に浮かぶ人工の楽園都市・ザレム。だが、誰が、いつ、何のために、空中都市を造ったのか、知る者はいない。地上のクズ鉄町に住むザレム出身の医師・イドは、古い瓦礫の中から少女の頭部を発見し、ガリィと名付ける。奇跡的に甦ったものの、彼女の記憶は完全に失われていた。しかし、クズ鉄町での生活は、ガリィの中に眠っていた「戦士」の血を徐々に呼び覚ます。ガリィは賞金稼ぎを生業としながら、貪欲に自己発見の道を突き進み始めた。

ザレムに憧れる少年・ユーゴと出会って恋を知り、彼の死にまみえ魂の慟哭を知った。絶望から逃れようと飛び込んだプロスポーツ・MB界では、帝王と呼ばれる男・ジャシユガンとの邂逅、死闘、決別を経験する。自身を刃のようになり、闘い、挑むことにより、ガリィは内なる自分を見つめ続ける。だが、狂気の科学者・ノヴァに改造されたザパンとの戦いの果てに、ガリィは「家族」であるイドを失い、己の命さえも風前の灯火となってしまった。そのガリィを拾い上げ、新たな道を提示したのは、ザレム地上監察局だった。イド再生の鍵を握るノヴァの行方を追うために、ガリィはザレムの地上エージェント・TUNEDとして生きる道を選んだ。

ガリィは、傭兵のフオギアと知り合い、なくしかけていた「人」の心を取り戻す。そんなガリィの前に、立ちちはだかる者が次々と現れた。ノヴァの息子でサイコメトラのケイオス。ケイオスの第二の人格として生まれ、ザレムに敵対する民衆のリーダー・電。電を慕う少女・ココミ。ガリィの複製として作られたTUNED・GRシリーズ……。熾烈を極めた闘いの中で、TUNEDシステムをバックアップしていた協力者・ルウは解任され、ザレム人の脳が

マイクロチップであるという驚愕の真実が明かされる。

対自核夢による脳内ハッキングをはねのけノヴァを倒したガリィは、ついに勝利したかに見えた。が、フオギアのもとへ向かう彼女を待ち受けていたのは、ノヴァが仕掛けた思いもかけないトラップ——ノヴァはナノマシン・テクノロジーによって再生していたのだ。

そして、爆死したガリィの脳は、空中都市・ザレムへと持ち込まれた……。

※このまでのストーリーは、銃夢(完全版)1-6巻に収録されています。

ノヴァの手により、ガリィは究極のイマジノス体を与えられ復活を果たす。行方不明だったルウがザレムの深部で発見されるが、それは脳内チップを抜かれた死体だった。摘出され宇宙都市・イエールに運ばれたルウの生身脳を探して、ガリィはノヴァと護衛のGRシリーズ・ゼクスらと共に、イエールへ乗り込んだ。だが、イエールの実力者・ムバディにノヴァは捕らえられ、ガリィたちは宇宙空間へ遺棄されてしまう。

そこでガリィたちを救ったのは、かつて凄腕ハッカーとして名を馳せたピング・ウーと、火星王国・リメイラ女王だった。宇宙コロニー・リヴァイアサンに身を寄せたガリィたちは、優勝チームに独立国家権を認めるという森羅天頂武闘大会・ZOTTに出場し、ルウの脳を奪還するチャンスを持つ事に。第1回戦でガリィら宇宙天使隊は、カエルラ・サンクウィス率いる星の保育団協会・ガントロールを敗り、過去の因縁でつながっていたカエルラから、謎のプログラム「ファタ・モルガーナ」を託された。

迎えた第2回戦、エルフ&ツヴェルフが星船教団との闘いに臨む中、ガリィはイエール潜入を企てる。しかしその時、何者かがガリィの行く手を遮った!!

PHASE:38

私は陽子

005

PHASE:39

私はガリィ

037

PHASE:40

オタマはオタマ

069

PHASE:41

人生最大のこの時が!!

101

PHASE:42

むかつくぜ!!

133

PHASE:43

混沌の息子よ

165